

# かけはし

WELFARE INFORMATION

■編集発行／社会福祉法人養父市社会福祉協議会 〒667-0022 養父市八鹿町下網場320（地域交流センター「福祉の杜」）  
平成24年1月13日発行 ■電話 (079) 662-0160 ■FAX (079) 662-0161 ■E-Mail yabu-shakyo@fureai-net.tv  
■ホームページ http://www.yabu-shakyo.jp/

## 地域の人たちとの 楽しい思い出を胸に



▲元気いっぱい素敵な笑顔の小佐小学校の児童の皆さん（=平成23年12月14日、小佐小学校）

今年の4月に八鹿小学校と統合する小佐小学校は、「ふるさとに誇りをもち、こころ豊かにたくましく生きる小佐っ子の育成」を教育目標とし、ふるさと小佐の豊かな自然や文化・伝統・人材を生かした教育の展開と、地域に開かれた学校づくりを進めています。

特に、学校の田んぼで行う「赤米づくり」では、種もみまきから、田の草取り、稲刈りまで地元の人たちに手伝ってもらうなかで、地域との交流が深まりました。

また、ボランティアから手話を学んだり、高齢者からしめ縄づくりなどを教わったりしながら、楽しく学習に取り組みました。

このようなささまざまな体験から、自然を愛し、ふるさとに誇りを持つ多くの児童が育っています。

谷口あいさん（2年生）は「みんなでした赤米づくりが楽しかった。八鹿小学校で友だちをいっぱいつくりたい」と笑顔。西村汐里さん（6年生）は「全校生で仲良く遊び楽しかったです。校歌作曲された吉田一孝先生が12月に来られ、唄い方を教えてもらえてよかったです」と話していました。



昇り竜のように目標にむかって

# あつまれ～辰年!!



2012年は、辰年です。行動力があり社会的なので、多くの人から好意をもたれています。またリーダーの素質も備えている方が多いです。市内の辰年の皆さんに、今年の抱負をうかがいました。

※年齢は今年の誕生日を基準にしています。

学徒動員で出征し、長い間戦争に関わっていたせいか、世界の平和を特にお祈りいたしております。



尾崎 勇さん (96歳)  
なかむら いさむ

ひとり暮らしなので健康に気をつけて、畑仕事を頑張りたいです。

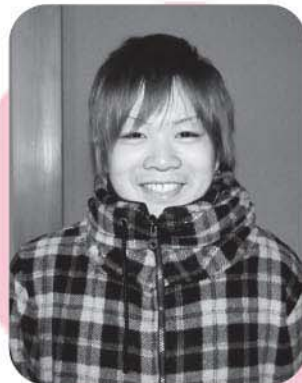


大屋町宮垣 てるさん (96歳)  
なかお



葛畑 幸栄さん (84歳)  
にしむら ゆきえ

今ひとり暮らし高齢者のほのほの会世話人会のメンバーとして、人のお世話をしながら元気をもらっています。毎月の集まりに参加して人と楽しく過ごすことが長生きの秘訣です。



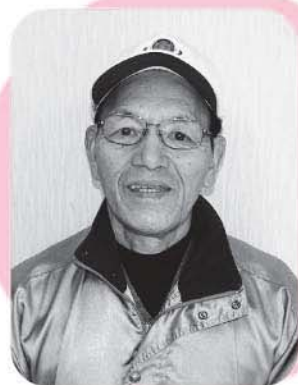
八鹿町伊佐 前田敦二郎さん (24歳)  
まえだ あつじろう

今年は何事にも慎重に行動して、仕事とプライベートの両面にてのりある一年にしたいです。



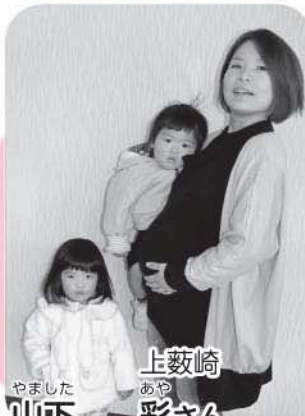
大屋町蔵垣 上垣 太志さん (36歳)  
うえがき ひとし

趣味を大切に。そして、家族みんなが元気で過ごせますように。



新津 田村 久夫さん (72歳)  
たむら ひさお

ジョギングをはじめて25年になります。今年も健康で明るく、ゆっくりに走りたいです。今年の目標は第2回神戸マラソン大会に参加すること。



上藪崎 彩さん  
やました あや  
お腹にいるこどもさん(0歳)  
陽菜ちゃん、誠太ちゃん  
ひな せい太

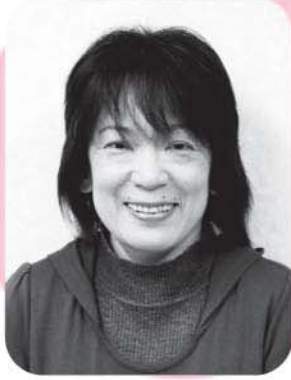
3月9日が予定日です。楽しんで子育てをしたいです。



八鹿町馬瀬 廣瀬 晴美さん (72歳)  
ひろせ はるみ

健康を第一に趣味をはじめとし絆を大切にしたいと思えます。





みんな健康で、良い年でありますように

大谷  
小林智津美さん (48歳)  
こばやしちづみ



八鹿町天子  
田川博さん (84歳)  
たがわひろし

みなさんに御迷惑をかけないよう気をつけ、時には助けてもらいながら、今後も元気に人生マラソンを楽しみたいです。



大屋町門野  
田村唯さん (24歳)  
たむらゆい

今年一年も笑顔忘れず、仕事を頑張っていきたいです。皆が元一杯、一年過ごせますように!!



浅野  
橋本あゆみさん (36歳)  
はしもと  
橋本富美子さん (60歳)  
はしもとふみこ

親子そろって年女。8人の大家族。2人で一家を支えていかなければならないので、体力づくりが心掛けていきたいです。がんばっていきましょう。ばあちゃん♡



大久保  
田中稔彦さん (60歳)  
たなかとしひこ

還暦を迎え、いつ身体に不都合が生じてもおかしくない年齢になりました。これから先できれば病院や社協のお世話になったりしないように健康でありたいと願っております。



八鹿町下町  
宮本こずゑさん (60歳)  
みやもと

今生がされていることに感謝し、心にゆとりと健康に気をつけ、朗らかに過ごしたいと思います。



大屋町大屋市場  
才木喜美子さん (72歳)  
さいききみこ

笑顔をやさす頑張って、一生現役で歩んで行きたいです。



上薮崎  
片岡正志さん (48歳)  
かたおかまさし

昨年は、地震等災難がたくさんありました。今年は災難等を「タツ」年になればと思います。

## 新春ごあいさつ



養父市社会福祉協議会  
会長 藤川 昭男

新年あけましておめでとうございませう。

市民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は社会福祉協議会に対し、ご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

近年、人と人、地域と人の繋がりが希薄になってきています。そのような中、昨年の東日本大震災で「絆」という言葉が一躍クローズアップしました。養父市も少子高齢化が進んでおり、ひとり暮らし高齢者、高齢夫婦世帯などが増加しております。地域での支え合い、助け合い、見守りなど繋がりある活動が大切になっていきます。

平成24年が地域福祉の更なる向上の年になるよう、役員一丸となって頑張りたいと考えております。皆様の一層のご支援、ご協力をお願い致します。

本年が皆様にとって幸せ多き年となりますよう祈念し年頭のご挨拶いたします。



# 福祉のまちづくりをめざし

## 養父市社協のつどいに300人

地域住民や福祉関係者が一堂に会し、「ささえあう心で笑顔あふれる福祉のまちづくり」の実現と、社会福祉のさらなる充実をめざして、平成23年度養父市社協のつどいを養父市ボランティア・市民活動センターと共催して12月23日に開催。約300人が参加しました。



▲手話で講演する小林泉氏。手話通訳者がマイクで参加者にお話を伝えました(=平成23年12月23日、養父市立ビバホール)

前日から雪が降り続く中、12月23日に養父市立ビバホールを会場に、「平成23年度養父市社協のつどい」を社協とボランティア・市民活動センターが共催し開催しました。地域福祉関係者約300人が一堂に会するなか、式典と小林泉さんの講演、小西達也さんによるクリスマスコンサートが行われました。

### 【式典】

社協介護福祉課女性職員によるオープニングコーラス「こころの花ばたけ」でつどいは幕を開けました。

藤川昭男会長は「社協が合併してから8年目を迎えてい



▲1階ロビーではボランティアグループの活動パネルやいきいきサロンの作品が展示されました



▲当日は講演内容やコンサートの歌詞などを手話通訳と要約筆記でサポート

ます。行政をはじめ区長会、民生委員児童委員協議会、諸団体並びに福祉委員、ボランティアの皆様に支えられる中で、誰もがその人らしく地域で尊厳をもって安心して暮らす『福祉コミュニティ』の実現のために取り組んで努力しているところ です」。

また、東日本大震災後の復興にも触れ、「今年一年の世相を表す漢字に『絆』が選ばれました。中略、これを機会に『絆』即ち人と人のつながり、助け合い、支え合いのある地域社会が求められています。このようなか、養父市社協は市内全行政区に『福

祉委員』を設置し、民生委員・児童委員、民生児童協力委員、福祉委員らで構成する『福祉連絡会』の設置、また地域住民や社会福祉関係者と連携・協働して地域の福祉力の向上を目指していきたい」とあいさつを締めくくりました。

表彰では、長年のボランティア活動による地域福祉への貢献が認められ「平成23年度ひょうご県民ボランティア活動賞」、「平成23年度兵庫県社会福祉協議会会長表彰福祉ボランティア功労者」として受賞された5個人、1団体に對し改めて表彰伝達を行いました。



【講演】

たじま聴覚障害者センター所長小林泉さんを迎え、養父市内では初めての手話通訳者と要約筆記による講演がありました。

豊かな人生をめざして「一人ひとりを大切に 共に生きる」と題して、一見健常者との違いが分りにくい聴覚障害を持つ方が、日常生活の中で感じる不自由さや理解されにくさについて話しました。

健常者が聴覚に障害のある方について考えるべきこととして以下の3点をあげ、「一



▶小西達也氏の「コンサートは、優しい歌声に包まれました」

つは『見えない障害』です。

聴覚障害者は見た目ですぐに理解してもらえないことがなく、トラブルが生じる事もありません。一見、健常者と変わりないので、なかなか理解してもらえません。

次は『情報障害』です。健聴者は無意識のうちに生活の場で音声による情報をキャッチしますが、聴覚障害者には目で見える範囲の情報しか入ってこないのです、それ以外は気付くことはありません。

最後の一つは『コミュニケーション障害』です。口話、

絵、写真、筆談、手話などが使えなかったら、みんなの会話に入りにくく、疎外感・孤立感を強く感じてしまいます。

みなさんが海外旅行をされたときに感じる気持ちを想像してもらえると、理解していた

だけだと思います」と伝え、「平成17年に豊岡市に開所し

ましたたじま聴覚障害者センターは、経営理念として「一人ひとりを大切に共に生きる」を掲げています。聴覚障害者の人権擁護を通じて、すべての人の人権を守り発展させていきたいという願いなので

かつて社会が障害のある人に求めたのは、障害のない人の何倍も努力を重ねて更生し、障害を克服することでした。そうした人だけが賞賛されモデルとされた時代が長く続きました。障害を克服することが出来ず、障害を受け入れてしまった人は、同情や哀れみで見られました。

『自立』とは他人の助けを受けることがなく、文字どおり『自分で立つこと』の理解が一般的です。それが『障害者運動』や社会発展の過程の中で、一方面的な努力の強要ではなく社会の仕組みを障害のある人に合ったものにしていくことが正しいとの理解に変わってきました。

聴覚に障害があるからこそ、そしてコミュニケーションに苦労してきたからこそ、

人との繋がりを大切にしていかなければなりません。そこから人と人が支え合って何かをつくり上げていく力を発揮することができるのではないかと思っています。今後みなさんと共に手を携えながら地域社会全体で積極的な役割を果たしていけたらと考えています」と述べました。

手話で講演を行う小林さんのお話を手話通訳者がマイクで会場に伝えるという形での講演は初めての試みであり、つどいのアンケートでも、「手話通訳による講演は初体験でした」「同時通訳をされた3人の通訳の方々の能力には感服した」などの感想が寄せられました。

【クリスマスコンサート】

豊岡市出身の小西達也さんは、先天性骨形成不全症のため、骨折を繰り返し、車いすで生活されています。

降雪のため姫路市からの来場が心配された当日も、自身の運転で会場までお越しいただきました。

オリシナル曲や年齢層を問

わずなじみ深い曲を優しい声で歌い、合間には心温まる話をはさみながらのコンサートでした。

「とても楽しいコンサートでした。心こもった歌すばらしかった」「とても優しい気持ちあふれる素晴らしい歌声に、いつしか一緒に口ずさんでいました。感動のひとつでした」など参加者から賞賛されました。

受賞者(敬称略・順不同)

・平成23年度  
ひょうご県民ボランティア  
活動賞

田中 康子(養父)  
・平成23年度  
兵庫県社会福祉協議会  
会長表彰

福祉ボランティア功労者  
(個人)

太田 豊(八鹿)  
古井由紀子(養父)  
中島 由英(大屋)  
山本 清輔(大屋)

(団体)  
スマイルボランティア  
代表 藤原たまゑ(関宮)



# あんしん くらしの安心のために あなたのそばによりそって

## 福祉サービス利用援助事業で 社会福祉協議会がお手伝いします

<p>どんな場合に 利用できるの？</p>	<p>このサービスを利用できる人 ●家やアパートでくらししている人 ●グループホーム・ケアホームでくらししている人</p>	<p>「福祉サービス利用援助事業」で おてつだいできます</p>
<p>福祉サービスを利用したい時 たとえば ●ガイドヘルパー・生活援助ヘルパーをたのみたいけれど、どうすればいいの？ ●どんな福祉サービスがあるのかわからない…</p>		<p>福祉サービス利用のおてつだいをします たとえば ●福祉サービスの説明 ●利用のもしこみ ●利用をやめる ●利用料の支払いなど</p>
<p>書類の整理や手続きができない時 たとえば ●必要な書類はどれ？ 例)市役所からの手紙や銀行のハガキ など ●内容がよくわからない… ●書き方や手続きがわからない…</p>		<p>書類の整理や手続きのおてつだいをします たとえば ●書類をきちんと整理 ●手続きの仕方</p>
<p>お金のつかい方がうまくできない時 たとえば ●お金をつかすぎてしまう… ●給料と年金で1ヵ月くらせるのかな？ ●税金、家賃、電気・ガス代などの支払いはどうすればいいの？</p>		<p>お金の管理をおてつだいをします たとえば ●年金や福祉手当の受け取り手続き ●税金、家賃、電気・ガス代の支払い ●銀行でのお金の出し入れなど</p>

### よりよい支援をめざして

### 生活支援員研修会開催

12月9日、養父市社会福祉協議会生活支援員研修会を地域交流センター「福祉の杜」で開催し、福祉サービス利用援助事業を担当する職員と生活支援員の12人が参加しました。

当日は、兵庫県社会福祉協議会地域福祉部権利擁護センター白田江利世主事を講師に迎え、兵庫県内の相談・契約状況を聞いたり生活支援員の役割について学んだりしました。

白田主事は「利用者の方の障害特性をしっかり把握し、社会との関係性を持ちながら、個人ではなく社協組織の一員として支援します」と話し、「利用者の方の見守りや判断のお手伝い、思いや意見を知り伝えることが生活支援員に特に期待されている」と強調しました。

また、支援員相互の情報交



▲ユニークな意見に思わず笑いが

換では、「最初の訪問はとても緊張する。でも最初が肝心ですね」「訪問するといろんなことを話されます。ゆっくり話が聞けたらいいけど、訪問時間や利用料のことがあるので焦ります」「何年も同じ人の担当をすると、深く入り込みすぎてよくないと今日の研修で気がついた」などよりよい支援にむけて、活発に意見を出し合いました。



# 聞こえと補聴器の勉強会 養父市・八鹿会場

「聞こえ」について学んだことはありますか？  
「補聴器」がうまく活用できていますか？

なんらかの聞こえにくさがある人は全国で約 600 万人いると言われています。聴覚障害や補聴器のことをどのくらいご存知ですか？また、話しの内容を文字にしてスクリーンに映す「要約筆記」、マイクの音を直接補聴器に届ける「磁気誘導ループ」を体験してみませんか？この勉強会は養父市では初めての開催です。わからないことはどんどん質問してください。

難聴者、そのご家族、知り合いの方、みなさんお気軽にご参加ください。

日時：平成24年2月26日(日)  
13:30～15:30(受付:12:30～)  
場所：八鹿文化会館23号室(養父市八鹿町八鹿1675)  
参加費：100円(資料代)

内容：1. 聞こえをたすける「情報保障」あれこれ  
2. 養父市聴覚障害福祉制度について  
3. 何、なに？「要約筆記(ようやくひっき)」  
4. 聞こえ、補聴器についてのお話し・イヤーマールド型取り実演

講師：マリヤ医科興業株式会社 但馬補聴器センター  
認定補聴器技能者 大羽 裕幸 氏



◀聞こえにくい方をサポートする要約筆記

締切り：平成24年2月22日(水)  
申込書にご記入のうえ FAX または、電話でお申し込みください。  
※申込書は養父市社協各支部窓口にあります。

【申し込み先・お問い合わせ】  
たじま聴覚障害者センター  
豊岡市京町 12-73  
電話：0796-24-8008  
FAX：0796-24-8288

【申し込み先】  
養父市社会福祉協議会  
電話/FAX 本部(八鹿支部) 662-0160/662-0161  
養父支部 664-1142/664-2181  
大屋支部 669-1598/669-0093  
関宮支部 667-3248/667-3351

## あなたの善意が光の架け橋に

— 献眼ってご存知ですか? —

兵庫アイバンクは、角膜の病気で視力障害のある方に再び光を取り戻すことを目的に発足した公的機関で、神戸大学付属病院内に開設されています。不幸にして亡くなった場合、本人または遺族の同意を得て眼球を提供することを、献眼と言います。角膜移植が必要な方と、提供いただく方との橋渡しを兵庫アイバンクではしています。

昨年は大屋地域の95歳の方より角膜提供をいただきました。それは、人生の最後にたった一度だけできる社会への尊い贈り物です。

献眼は網膜疾患などで目の不自由な方でもご提供いただけます。角膜寿命は200年と言われ、年齢制限はありません。

大屋ライオンズクラブは、アイバンクの活動に賛同し支援しています。献眼登録など詳しくは下記までご連絡ください。



大屋ライオンズクラブ事務所  
電話：079-669-1536

養父市内  
学校より

東日本大震災義援金

ありがとうございます

東日本大震災からの復興を  
願い、市内の学校でさまざま  
な募金活動が行われていま  
す。社協に寄せられた義援金  
は、共同募金会を通じ被災  
地へ配分されます。

募金された学校をご紹介します。  
(平成23年6月1日～12月31日)

- ・宿南小学校 12,020円
- ・ウイザスナビ高等学校 26,200円
- ・小佐小学校児童会(2回目) 15,129円
- ・但馬農業高等学校 69,705円

但馬祭 実行委員会



# 集まれ！支部社協

## 八鹿支部

養父市八鹿町下網場320 地域交流センター「福祉の杜」 TEL：662-8080 FAX：662-0161

この日は、7名の参加者が、ボランティアの中野はるみさん（オカリナ）と内呑智美さん（ピアノ）が演奏するクリスマスソングや懐かしい唱歌に聴き入りました。失語症は、脳梗塞や脳への外傷などが原因で起こります。全く声が出ないわけではなく、話したり、書いたりする時に言葉をうまく引き出せない

12月12日、失語症を持つ方が交流する「養父市失語症虹の会」で行われたクリスマスミニコンサート。素朴なオカリナの音色と、厳かな電子ピアノの旋律が奏でるハーモニーが優しく会場を包み込みました。

## 養父市失語症虹の会 ♪クリスマスミニコンサート♪



オカリナとピアノの調べにうっとり



▲コーヒーを飲みながら、ゆったりと音楽を聴く虹の会のみなさん（＝関宮ふれあいの郷）

い病気で。言葉が出にくい方も聞きたれた歌や音楽なら、なめらかに歌えることでもあります。この日も「きよしこの夜」や「ふるさと」などの曲にあわせ、静かに「ずさむ姿が見られました。参加した山下繁隆さん（万久里）は「オカリナで、いろいろな曲を聴くのは初めてです」中村一松さん（尾崎）は「今日は久しぶりに参加しました。もっと大勢の人に聴いてもらえればよかった」と話していました。虹の会では、食事会やミニドライブなども行っています。会についてのお問い合わせは、養父市社協地域福祉課までお願いします。

12月21日、建屋・養父地区は児島勝さん（養父市場）が描いた干支の額、広谷地区は足元が冷えないようにとの思いで靴下を、それぞれにカイロとメッセージカードを添えお弁当と一緒に届けました。「元気にされていますか」と声をかけると「ありがとう。大事に使わせていただきます」と思わぬプレゼントをうれしそうに受け取っていました。利用者の澤見竜子さん（堀畑）は「いつもボランティアさんに笑顔でお弁当を届けていただき感謝

## 養父支部

養父市広谷251-1 TEL：664-1142 FAX：664-2181

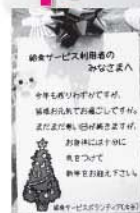
「元気にされていますか」と声をかけると「ありがとう。大事に使わせていただきます」と思わぬプレゼントをうれしそうに受け取っていました。利用者の澤見竜子さん（堀畑）は「いつもボランティアさんに笑顔でお弁当を届けていただき感謝

12月21日、建屋・養父地区は児島勝さん（養父市場）が描いた干支の額、広谷地区は足元が冷えないようにとの思いで靴下を、それぞれにカイロとメッセージカードを添えお弁当と一緒に届けました。

養父地域の給食サービスボランティアは、建屋・広谷・養父地区に分かれて3グループ82人が、70歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢夫婦の皆さんへお弁当を届ける活動を続けています。クリスマスを目前にした

給食サービス  
ボランティア

心と心をつなぐ活動  
利用者へクリスマスプレゼント



謝しています」。同グループ建屋地区代表の北本博子さん（船谷）は「皆さんに喜んでもらってよかったです。これからも心と心をつなぐボランティア活動を続けていきたいです」と話していました。



▶「これから寒くなるので体に気をつけてください」と声をかけながらプレゼントを渡すボランティア



# information

## 大屋支部

養父市大屋町加保678-1 大屋保健センター内 TEL: 669-1598 FAX: 669-0093

炊き上がったもち米を手際よく俵型に丸め、あんこやきな粉、青のりをまぶして色鮮やかなおはぎに仕上げるボランティア。  
大屋地域の8グループから参加したボランティア17人が協力して、12月13日に85歳以上のひとり暮らし高齢者52人と高齢夫婦世帯24組48人へ、手づくりおはぎを届け友愛訪問しました。  
「こんにちは。手づくりおはぎを持ってきました」「これから寒くなるけど体には十分気をつけてくださいね」



▲「美味しうやなあ」

ボランティア

### 心を込めて届けます

### 昨年引き続き高齢者を友愛訪問



▶ボランティアが心を込めて作りました(12月13日、大屋保健センター)

「またサロンにも参加してよ」など声をかけ、受け取った高齢者も「年をとったら色々不安になるけど、声をかけてくださるので嬉しいです」と笑顔でした。  
参加した井上恵美子さん(由良)は「ボランティアを始めて3年目ですが、活動することで皆さんに喜んでいただけるので、今後も出来ることを続けていきたいです」と話していました。

## 関宮支部

養父市関宮193 関宮ふれあいの郷内 TEL: 667-3248 FAX: 667-3351



▲「大勢の人とご飯を食べると楽しくていつもよりたくさん食べられます」と話す参加者(=12月3日、中瀬公民館)

12月3日、中瀬公民館で歳末たすけあい年末年始地域ふれあい事業として中瀬・鉾山区合同のふれあい喫茶が開催されました。  
開催を前に福祉連絡会のメンバーは、大勢の人に来てほしいとの思いで、案内のチラシを持ち「来てくださいね」と1軒ずつ声をかけをしながら配って回りました。当日は子どもから高齢者まで78人が参加しました。  
参加者は、スタッフと婦

### みんな揃ってお昼ご飯

### 中瀬・鉾山ふれあい喫茶

人会のメンバーが準備した、炊き込みご飯と豚汁を味わい、食後はお茶を飲みながら交流を深めました。  
幼児や赤ちゃんを相手にして笑顔になる高齢者や、持ち寄りの漬物の作り方が話が盛り上がる場面もありました。  
また、村おこし事業で作っている「中瀬金山」と焼印された回転焼きの「金山焼き」もふるまわれました。  
民生委員・児童委員の西村豊美さんは、「ふだん区内では人と出会うことが少ないのですが、今日は大勢集まってくださいました。今年は夏と冬に、ふれあい喫茶を2回開催できましたが、毎月開催してほしい、次回が楽しみとの声もいただいているのでこのような区民の集う場を年に3回くらいはもちたいです」と話していました。





# ～介護福祉課からこんにちは～

No.11

## 福祉用具貸与事業所です

♡安全、安心な在宅生活をお手伝いします♡

福祉用具は、高齢者や身体に障害のある方の自立を助け、少しでも快適に過ごせるよう、また、介護する方の負担を軽減するものです。福祉用具貸与事業所は、要支援、要介護の認定を受けた方の身体の状態にあった福祉用具を提供します。

さて、こたつの季節になりました。膝や腰が痛くて床や畳から立ち上がりにくい方に、こんな座椅子はいかがでしょうか。座面が上下し、膝や腰に負担をかけずに立ち上がれます。

### <独立宣言エコライト>



挟まれ防止の装置つきで、安全です。



昇降スイッチは、肘掛の左右どちらでも取り付けられます。



肘掛の跳ね上げが可能なので横からの乗り降りもできます。

この他に、座面が回転するタイプや背もたれが傾くりクライニングタイプもあります。担当ケアマネジャーあるいは当事業所にご相談ください。

### 【お問い合わせ】

#### 養父市社会福祉協議会 福祉用具貸与事業所

養父市八鹿町下網場320番地 地域交流センター「福祉の杜」1階  
電話:662-0160 F A X:662-0161



広報紙かけはし86号で善意銀行ベンチの申請地区を募集したところ、6地区から申し込みがあり、12台の設置が決定しました。  
設置地区をご紹介します。



▲扇町に設置されたベンチ  
(=平成23年10月4日)

○大谷区 2台  
大谷公会堂、遊園地  
○大久保区 2台  
バス停横

○扇町区 2台  
扇町ミニ公園  
○馬瀬区 2台  
馬瀬交流センター  
○奥米地区 2台  
ほたるの水辺公園  
○筏区 2台  
西谷ふれあいの家

## 善意銀行ベンチを設置

- 子育てサロン八鹿
  - 日時 1月18日(水)
  - 2月15日(水)
  - 場所 八鹿老人福祉センター
- 子育てサロンそよ風
  - 日時 1月23日・30日(月)
  - 2月6日・13日(月)
  - 場所 ふれあいきいきサロンそよ風
- 子育てサロン高柳
  - 日時 1月25日(水)
  - 10:00～11:30
  - 場所 高柳ふれあい倶楽部
- 子育てサロン伊佐
  - 日時 2月6日(月)
  - 10:00～11:30
  - 場所 伊佐ふれあい倶楽部
- 子育てサロン関宮
  - 日時 1月23日(月)
  - 10:00～11:30
  - 場所 関宮ふれあいの郷
- 子育てサロンすすく
  - 日時 2月14日(火)
  - 10:00～11:30
  - 場所 三宅団地集会所

## 1月・2月の子育てサロンの案内



# 今月の かけはしさん



かもちに ようこ  
**鴨谷 陽子さん**  
(建屋小学校教諭)

「ふくし」とは、「ふだんの暮らしのあわせ」。社会福祉協議会の方から教えていただいた言葉です。福祉体験を進める中で、子どもたちの発言が変わってきました。「おじいちゃん達が喜んでくれてうれしい」「1年生の子が喜んでくれてさわやかな気持ちになった」「人の笑顔がいっぱい見れて幸せ」。人の幸せを自分の喜びとして感じられる子どもたちの姿をうれしく思い、頼もしく感じています。「普段の暮らしの幸せ」これからも子ども達と一緒にみつけていきたいです。

## 善意銀行だより

平成23年11月16日～12月15日 (敬称略)

預託者のご了承をいただいた方のみ寄附金額を掲載しています

▼香典返し	上八木	田中 和裕	10,000円
	大森	谷垣 嘉春	50,000円
	中村	宮本 直樹	50,000円
	高柳下	秋田 昌廣	30,000円
	下網場	安井 成幸	10,000円
	一部	林 篤史	10,000円
	大塚	藤原サキエ	30,000円
	浅野	米田 収	30,000円
	高 中	宮本 国男	30,000円
	奥米地	足立 泰輔	50,000円
	養父市場	澤村 隆三	30,000円
	栗ノ下	小林 良二	20,000円
	大 杉	中庭ふく江	30,000円
	若 杉	大平 為男	20,000円
	匿 名	宮嶋 弘毅	30,000円
	岩 崎		
▼善意の寄附	三宅	和田 義美	
	関 宮	太田垣 徹	
	以上	金一封	
	曹源寺婦人部		10,000円
	宝積寺花園女性会		
	代表 村崎 幾子		10,000円
	浅野	橋本 幹夫	10,000円
	匿 名		6,008円
	匿 名		10,000円
	匿 名		2人
	以上	金一封	
▼チャリティ歌謡フェスティバル収益金			
	絆歌謡愛好会		30,000円
▼高柳ふるさとまつり善意の預託			
	のぎくの会		10,000円
▼チャリティバザー収益金			
	長寿の郷まごころクラブ陶芸グループ		35,000円
▼関宮文化祭バザー収益金			
	関宮地域局・公民館職員一同		金一封
▼歳末たすけあい募金指定預託			

●高柳八木仏教会  
28,650円

### ▼物品の寄附

三谷	村上 朝子
ねまき	
中 間	上垣 巖
しろ菜	
夏 梅	鎌田 幸枝
食器用洗剤	
大屋市場	森本 源治
たまねぎ	
若 杉	大谷 護
じゃがいも	
夏 梅	鎌田 肇
葉ぼたん	
もち米	鎌田 正明
安 井	竹下 義隆
ポータブルトイレ	
匿 名	11人
白米	もち米 さつまいも
大根	紅茶 里芋 人参
たくあん	紙おむつ
トロミ調整食品	
シクラメン鉢	
ジュリアン鉢	菓子
▼デイサービスセンター指定預託	
明 延	西尾 繁一
大根	かぼちゃ

◆寄附金合計  
66万2,158円

●ありがとうございました。

## クイズ

□にあてはまる漢字4文字を考えると、ことばを完成させましょう。

■ヒント 初詣「今年一年健康でありますように」

理	気
休	防

■応募方法 はがきまたは、FAXに答えと住所、氏名、ふりがな、年齢、電話番号、「かけはし」を「賞」になったご意見・ご感想をお書き添えの上、「応募ください」。

正解者の中から抽選で5名さまに図書カードを贈ります。

■必 切 平成24年1月31日必着  
〒667-0022

■応募先 〒667-0022  
養父市八鹿町下網場320  
「福祉の杜」内  
養父市社会福祉協議会  
FAX 662-0161

### ★前回の答えは

「大掃除」でした

余根田亜由美さん(米里)  
長島 久子さん(高柳合)  
戸屋 成美さん(浅筒)  
中井 理沙さん(広谷一区)  
岡本 弘子さん(大坪)

以上5名の方が当選されました。  
おめでとうございます。



# 総合相談所のご案内

いずれも相談無料

## 心配ごと相談・結婚相談

13:30~16:00

身の回りの困りごとや結婚に関する相談はありませんか？

- ❑ 1月27日(金) 関宮ふれあいの郷
- ❑ 2月3日(金) 地域交流センター「福祉の杜」
- ❑ 2月10日(金) 社協養父支部
- ❑ 2月17日(金) 大屋保健センター

## 弁護士による無料法律相談

13:30~16:30

先着6人の予約制となっていますので、事前に電話でお申し込みください。

- 期 日 平成24年3月21日(水)
- 場 所 社協養父支部
- 相談時間 1人30分程度
- 申し込み先 養父市社協本部 電話 662-0160

## くらしの法律相談

8:30~17:00

消費者被害や訴訟問題、成年後見制度、福祉サービス利用援助事業などの相談を社協窓口で受け、担当弁護士に伝えて問題解決のお手伝いをします。

相談は、毎週月~金曜日までの常時、本部及び各支部で受付けています。



うえがき 翔星ちゃん 3歳  
しょうせい  
るな 琉奈ちゃん 1歳11ヵ月  
（蔵垣・兄妹）

うちげえの

宝

### お父さんの健也さんに関きました♪

#### ◆名前はどのようにつけましたか？

翔星は空のように広い心を持った子に育ってほしい、琉奈は光る宝石のようにきれいな心を持つようにとの思いで名付けました。

#### ◆今、興味をもっていることはなんですか？

ゴーカイジャーが大好きなお兄ちゃん。琉奈は、音楽が鳴るとすぐにおしりフリフリのダンスをしてくれます。

#### ◆ご両親から一言メッセージ

年子で双子みたいな翔星と琉奈。仲良く元気に大きくなあれ。

## 教えて弁護士さーん!



### 第58回「裁判員への手当」のはなし

Q 前回のお話では、正当な理由がない限り、裁判員の候補者として裁判所へ行く必要があるとのことでしたので、呼出しがあれば裁判所へ行こうと思っています。ただ、ここから裁判所までは距離がありますし、お金もかかります。実際に裁判員にならなくても、候補者として裁判所へ行く交通費はもらえるのでしょうか？ また、裁判員になった場合、私のような主婦でも参加した分の日当をもらえるのでしょうか？

A まず、裁判員の候補者として裁判所へ来るよう呼び出しがされたことに応じて裁判所へ行った場合には、交通費をもらうことができます。ただし、自宅から裁判所まで最も経済的に安い方法で行った場合の費用しかもらえないことになっています。具体的には、JRなどの公共交通機関を利用することとされ、公共交通機関が利用できるのに自動車やタクシーを利用した場合には、公共交通機関を利用した場合の交通費が支払われることとなります。

公共交通機関が無いなど、どうしても自動車などを利用しなければならない場合は、ガソリン代などの費

用をもらえますが、この場合も一律に1km 37円で計算されます。また、裁判所までの片道の距離が100kmを超える場合は、指定特急料金ももらえるので、神戸地方裁判所へ行く場合にはもらえますが、姫路の裁判所の場合には100kmを超えないのでもらえないこととなります。さらに、遠方で宿泊する必要がある場合には宿泊費用として7,800円から8,700円がもらえますが、養父市内の方の場合、原則として宿泊費用まではもらえないと思われます。

そして、最終的に裁判員に選ばれなくとも、候補者として裁判所に行った場合にも日当をもらうことができ、候補者の場合で8,000円、裁判員になった方には1日1万円が支払われます。これは、仕事をしているかどうかに関わりませんので、主婦の方でも支払われます。

また、裁判所へ行くには仕事を休む必要がある場合、裁判員として仕事を休むことは法律で認められているので、このために休みを取ったことを理由に解雇などの不利益な扱いをすることは禁止されています。ただし、有給休暇となるかどうかは、それぞれの会社の判断に任されています。

そして、交通費や日当については、後日、口座振り込みによって支払われます。

S I N法律労務事務所 弁護士 福島 健太



この広報誌は共同募金配分金が使われています。

こたえ：愛ちゃんの口、希望くんの頭に赤い羽根、地面の葉っぱの向き、女の子のスカートの柄の色、犬の耳の色

⑫ 第91号 かけはし